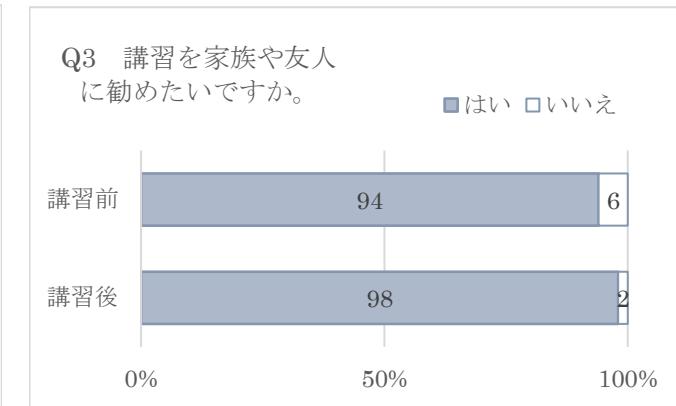
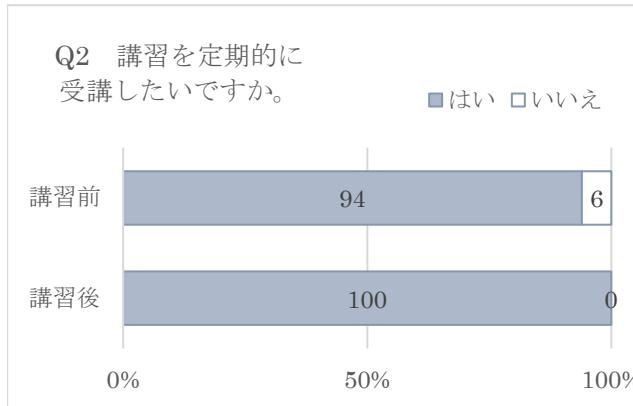
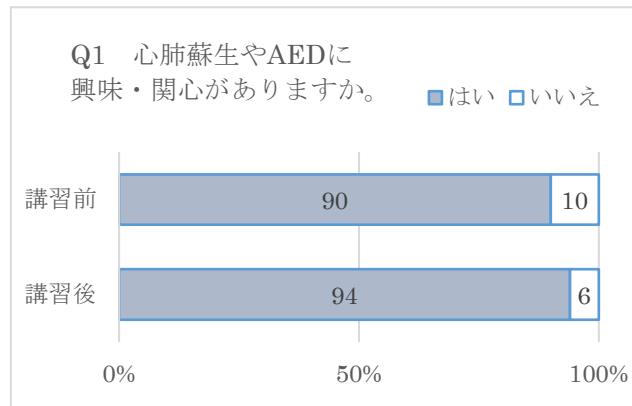


令和6年度 第2回 PUSH 講習会アンケート結果

講習会に参加した生徒の受講前後の意識および知識の変化を以下にまとめました。運動部員41名、希望者5名、保護者の方3名が受講しました。ここに事前・事後アンケートの結果をお知らせします。

【意識の変化】



講習の前後に意識と知識のアンケートを実施しています。受講前の意識の高さは本校で PUSH を開始して以来、最も高い値でした。救命への関心の高さがうかがえました。運動時にはコンタクトプレーやボールが胸に当たることで「心室細動」等の不整脈による心臓突然死のリスクが高いため、この講習で救命方法をしっかりと身につけて各部活動での「救命リーダー」になって欲しいと伝えました。日本では心臓突然死で1年間に約92,000人がなくなっていること、中学生や高校生にも心臓突然死が起こることをメッセージビデオで学びました。



受講後のアンケートでは救命の大切さを実感した素晴らしい感想が多く寄せられました。胸骨圧迫の手技やAEDの操作もよく理解し、声を掛け合いながら積極的に取り組む姿が見られました。もし、救命の現場にたちあつたら、勇気をもって自分から周りを巻き込んで行動してほしいと願っています。

【知識の変化】 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

«質問»

- ① 目の前で倒れた人に声を掛けても反応がない場合、救急隊が来るまで身体にはふれずに様子を見る。
- ② 救命率は1分経過ごとに約10%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない場合、胸骨圧迫はしてはいけない。
- ④ AEDは心電図を解析した後、すべての人に電気ショックをして心臓をもとの動きに戻す。
- ⑤ AEDによる電気ショックの後、倒れた人の意識が戻ったら誤作動を防ぐために、パッドを外す。
- ⑥ 救命できた場合でもストレスで不安になったり、眠れない、気持ちが落ち込むことがある。

«回答と正答率»

- | 回答 | 正答率 | 受講前 | 受講後 |
|-------|-----|---------|----------|
| ① いいえ | 正答率 | 受講前 86% | 受講後 92% |
| ② はい | 正答率 | 受講前 92% | 受講後 100% |
| ③ いいえ | 正答率 | 受講前 45% | 受講後 90% |
| ④ いいえ | 正答率 | 受講前 65% | 受講後 96% |
| ⑤ いいえ | 正答率 | 受講前 39% | 受講後 75% |
| ⑥ はい | 正答率 | 受講前 88% | 受講後 98% |

【生徒の感想】(原文) «他にもたくさんの素敵な感想をもらいました。»

- ・自分が勇気を出したら人を助けられるかもしれない。
- ・中学校の授業で少しやったがよく覚えていなかったので、今回講習を受けて思い出して、より詳しく知ることができた。普段からAEDがどこにあるか気にしながら歩いてみたいと思った。
- ・高校生でも救える命があること。救命できてもできなくても勇気ある行動をすることが最も大切だということ。
- ・AEDの使い方がわかった。この授業は全人類が受けるべきだと思った。
- ・AEDが到着するまですっと胸骨圧迫を続けるのは意外と大変だということがわかった。自分の1つの行動で命が助かるか助からないか大きく左右されるので、もしそのような場面に遭遇したら、適切な対応ができるよう今日学んだことを覚えておきたい。



AED登録&検索アプリ
Team ASUKA